

# 倒産件数を構成するものは？

2015/11/17 高 市 幸 男

本来的に、企業倒産は経営の失敗によって起こるもので、企業の個別的理由による。しかし、金融円滑化法の施行時、過去なら倒産する企業が延命されたし、東日本大震災における金融政策でも、倒産扱いとなる2回目不渡りや債権者破産が除外された。つまり、倒産件数は金融政策や経済政策の影響を大きく受けるのが明白である。

本稿では、倒産件数に影響を与える要素を考察してみる。

## 1、企業の個別的要素

### (1) 業績・財務内容・資金力

個別的要素として直接的な倒産原因となる。企業間信用による仕入債務の不履行は倒産に直結し、売上債権の回収難は資金繰り悪化の大きな原因となる。廃業や休業、ゾンビ企業などは倒産件数にカウントされないため、倒産件数を左右することになる。

### (2) 経営者の気質・意欲

「倒産する原因の7割は経営者の性格にあり」（出典：窪田千貫「自分でできる信用調査と与信管理」日本経済新聞社）と言われるように、大多数の倒産が中小企業であることから、経営者の果たす役割は極めて大きい。これらは、起業や事業開拓などによって、倒産件数に影響を与える。

## 2、社会情勢

### (1) 景気動向

社会全体の経済状況をいう。商品需給や消費動向、経済構造の変化、技術革新、新商品の開発など、個別企業では対応できない大きな変化であり、この波にのまれたら一企業ではひとたまりもない。

### (2) 経済政策

国の行う経済政策が、景気動向に影響を与えると共に、業界・業種・個別企業の業績を左右することがある。

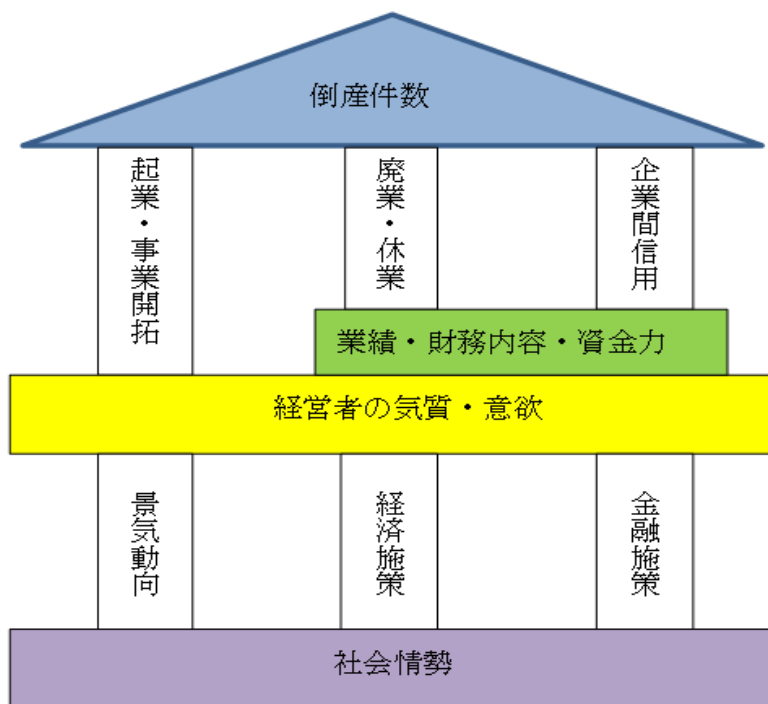
### (3) 金融政策

国の行う金融政策は、経済の源である金の動きをコントロールし、企業にとっては資金調達や運用に影響を与える。

以上を図示すると次のようになる。

社会情勢は建物という土台であり、景気動向と経済政策、金融政策という3本の柱を支え

る。2階の床は経営者の気質・意欲であり、その上に業績・財務内容・資金力という企業の特徴が乗る。そして2階の床から「企業・事業開拓」「廃業・休業」「企業間信用」の柱が立ち、倒産件数という屋根を支えることになる。



出典：高市幸男作成

以上